

(特非) 勿来まちづくりサポートセンター

防災緑地を地域資源として活かす 環境保全事業

イベントの 延べ参加者数	296 人
助成活動がメディア に掲載された回数	2 回
活動の全体目標 に対する達成度	75%



津波博物館館長への資料贈呈

◆成果と工夫したポイント

- 成果 ドングリ里親プロジェクトに 78 鉢の応募があり、防災緑地の説明会には約 100 名の参加があり、徐々にではあるが住民に浸透する兆しが見えてきた。
- 工夫 ドングリ里親プロジェクトの主催を、勿来・田人方部連合 PTA との共催事業として実施した。

課 題

防災緑地が地域資源として住民が憩える場所になるために、ハード整備について県担当者との合意や防災緑地自体の周知、先進地事例を視察研修し、知識を習得すること。

活動内容

①チリ地震の被災地であるハワイ島ヒロを訪問し、津波当時の様子、都市計画決定での整備の状況、津波博物館の展示内容、さらにキラウエア火山噴火による被害状況と復興の現状を研修。②6月と11月にドングリ・苗木の採取とドングリ里親プロジェクト希望者への苗木配布を実施。③12月に防災緑地利活用促進のための整備概要の住民説明会を開催、2月にアートを活かしたまちづくりの観点から、宇部ビエンナーレを視察研修。



ドングリ里親プロジェクト苗木贈呈式

今後の課題

防災緑地に植樹できるのが平成 29 年度になることから、今年度より一般参加者へのアプローチを開始する。広域的な視点で海岸や海との連携を検討し、多くの人が訪れて、楽しみ憩える環境を先進地から学び活かしていく。